

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 2 6 日 更 新

事務事業名		熊本県物産振興協会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	榮 峰男
	施 策	27	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	樋口 良平
	施策の柱	72	人材確保と生産・販売力の強化			所属班	商工振興班	(内線)	5215
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11461	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (P L A N)

【事業の内容】	熊本県物産振興協会への参画によって、市物産のPRに寄与する。 平成5年4月1日、熊本県物産振興協会の設立に伴い市町村の取組みが始まった。 熊本県物産振興協会は、現在、県下全域の物産関係会員、県・市町村及び関係団体等、計 511 会員で構成され、広く県産品の振興を図るため、物産館の運営や物産展・商談会の開催、オンラインショップの運営等、各種事業を推進している。また、熊本地震、県南豪雨水害からの創造的復興、地方創生の推進、国際化への対応等を踏まえ、県内市町村との連携を図りながら、地域経済の復興に積極的に取り組んでいる。 昭和38年観光基本法～昭和39年物産振興協会任意団体を結成。 平成18年の合併により負担金が5万円から10万円へ変更となった。
【業務の流れ】	請求書受付、支払及び振興協会からの調査依頼への回答 物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受ける。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	地元特産品の全国展開に向けて催事等への出品希望があった。

1 現状把握の部 (D O , P L A N)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
請求書受付、支払 物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受けた。また、調査に対する回答を行った。また、熊本県物産振興協会に負担金を支払った。	熊本県物産振興協会から提供される物産情報や展示会開催情報の提供を受けるとともに、その情報を活用しながら協会との連携を密にし、合志市の地域特産品及びブランド品のPRを発信する。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 振興協会の研修会、講習会の開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
熊本県物産振興協会	→ ア: 振興協会加盟団体数	社
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
熊本県物産振興協会加盟団体に多くの情報が提供され、スムーズな運営を図ることができる。	→ ア: 振興協会主催事業への出席回数	回
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受けるため、協会主催事業へ参加するので、この指標を設定した。協会への参画事業なので、目標値は例年どおりとした。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ									
② 対象指標	ア	社	502	468	525	481	525	525	525	525
	イ									
③ 成果指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	0	0
	イ									
投 入 費 用	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	100	100	100	100	100	100	100
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	100	100	100	100	100	100	100
		(A)のうち指定経費	千円	100	0	100	100	100	100	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち臨時職員従事人数	人	3	1	2	1	2	2	2
人 件 費	延べ業務時間	延べ業務時間	時間	30	10	25	10	25	25	25
		(B) 人件費計	千円	117	38	99	36	99	99	99
	トータルコスト(A)+(B)		千円	217	138	199	136	199	199	199

事務事業名	熊本県物産振興協会参画事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 協会主催の会議等へ参加し、情報収集ができた。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 協会主催事業への参加は、日程調整ができれば可能である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 日程調整をし振興協会主催事業へ参画し、多くの情報を市内企業へ提供をする。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 熊本県が主導する地域産品の情報発信、支援事業であり、類似するものはない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 他市町村とも同額の負担であるので削減の余地なし。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支出と研修会への参加であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 振興協会がスムーズに運営されることにより、合志市が物産情報の提供を受けることができ、合志市内の不特定多数の人々に情報発信することができるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 （一社）クラッシーノこうしと連携することにより、『稼げる市』を目指す。

3 評価結果の総括（CHECK）

観光物産に関する活動や情報収集は市単独では困難なので、今後も協会に参加して情報提供を受けることが有効である。また、（一社）クラッシーノこうしと連携し、合志ブランドや市内農産物及び加工品の販路拡大に努める。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												